

高田松原メモリアルフラワーロードストーリー



高田松原前の国道45号線沿いで、毎年1万5千株の花が観光客を迎えた「フラワーロード陸前高田」。

代表の鈴木勝井さんは、学校をリタイアした18年前に小さな活動からスタートし、市民の協力の輪を広げ1キロにおよぶ沿道を花一杯にしてきました。

活動が軌道にのり、フラワーロードが陸前高田の花の文化として根付き始めた矢先……津波は鈴木さんの夢も、大切な家族も、多くの友人も奪ってしまったのです。

あきらめかけた夢……鈴木さんの夢を未来につなぎたい

恩師である鈴木さんのために、希望の花いわて3,11メンバーの吉池泉さんは立ち上がりました。

「鈴木さん達の花壇に、鎮魂と未来に願いをこめて球根とビオラを植えたい……いままでない花壇を陸前高田の市民のために！」思い描いたのは、ガーデニング雑誌「BSES（ビズ）」で見たオランダのガーデンデザイナー、ジャクリーンさんがデザインした球根の庭の写真でした。

私達の活動の支援者であり、被災地で写真を撮影したカメラマンの桜野良充さんが送ったメールに対し、すぐに「OK」の返事が！多くの皆さんの協力で、フラワーロードの花壇をジャクリーンさんデザインによる『River of Flowers—花の川—』として再生させることができました。

この「花の川」は他の地域の人々の心も動かし、45号線を北に遡って大槌、そして山田町まで続く大きな流れとなりました。秋の球根募集には全国の個人・団体から約8万球の球根が寄せられ、浸水した花壇、仮設住宅、学校などたくさんの地域にお届けすることができました。

これから咲く花たちを通じて、全国の皆様との「心の絆」が未来への希望となることでしょう。



11月3日イベント用のチラシと球根支援募集のリーフレット



11月2日・ジャクリーンさんをお招きしてフラワーロード現地視察と、陸前高田市住田町にてセミナーを開催



11月3日の支援者ご紹介（順不同・敬称略）
デザイン指導：ジャクリーン・ファン・デル・クルート
ビオラ種：タキイ種苗、エヌ・アンド・ビーフローラ
ビオラ苗：見元園芸、花のカブロプロジェクト、ガーデンプランツ工藤（育苗）
球根：（社）日本種苗協会会員部会、（社）日本花き生産協会球根切花部門、
スイセンプロジェクト、日比谷花壇、花の大和、オランダ国際球根協会
全国の球根を送って下さいました皆様
土壤改良：花の力（土壤改良費）、造園建設業協会名古屋支部（土壤改良剤）、
仙北園芸、cahoots（土壤改良）
除草：陸前高田ボランティアセンター
肥料：くみあい肥料
機材：国交省、陸上自衛隊、鹿児島港務所
搬運：三研ソリル、やまと運送、岩手園芸、ガーデンプランツ工藤、佐藤修司
チラシ繪：大野先生、戸田幸枝
講師2回目渡航費：オランダ国際球根協会

フラワーマップ



希望の花いわてでは、今年もフラワーロードをはじめとした『45号線花の道』を支援します。
活動には「flag（花とみどりの復興支援ネットワーク）」にご支援いただいています。
また夏の花苗は、家庭園芸普及協会「花いっぱいキャンペーン」が日本フラワー＆ガーデンショウで行ったチャリティプログラムによるご支援を受けています。



6月30日（土）フラワーロード夏花壇への植え替え会開催！
作業をお手伝いいただけるボランティアの方を募集しております。
詳しくは、ブログにてお知らせします。
東京からのボランティアバスも運行を予定していますので、大勢のご参加をお待ちしております。



→ オランダの
ジャクリーンの花壇
© 桜野良充